

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-504245(P2006-504245A)

【公表日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-005

【出願番号】特願2004-548398(P2004-548398)

【国際特許分類】

H 05 B 37/02 (2006.01)

H 03 K 7/08 (2006.01)

H 03 K 17/78 (2006.01)

H 05 B 41/38 (2006.01)

【F I】

H 05 B 37/02 R

H 03 K 7/08 A

H 03 K 17/78 Q

H 05 B 41/38

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月17日(2006.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源(32)に線形パワー駆動を配達するための装置であつて、

前記光源(32)に接続された出力を備えたパルス幅変調器(16)と、を有し、

前記コマンド電圧駆動信号が変化したときに、複数のパルスと周波数を備えたパルス幅変調信号が、前記出力に提供され、複数のパルスの幅が変化するように、前記パルス幅変調器(16)は、コマンド電圧駆動信号に応答するように構成され、

前記パルス幅変調器(16)に接続された周波数制御回路(56)と、を有し、

前記コマンド電圧駆動信号が、複数のパルス幅の変化と実質的に同時に周波数を変化させるように変化したときに、制御電流が、前記周波数を変化させる前記パルス幅変調器(16)に提供されるように、前記周波数制御回路(56)は、前記コマンド電圧駆動信号に応答するように構成され、

前記光源(32)に流れる電流に応答するように構成され、更に対数電圧を提供するように構成されたフィードバックループと、

を有することを特徴とする装置。

【請求項2】

合成信号を生成するために、前記対数電圧と輝度コマンド信号を加算するように構成された加算回路(50)を更に有することを特徴とする、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記合成信号の積算で前記コマンド電圧駆動信号を生成するように構成された積分器(52)を更に有することを特徴とする、請求項2に記載の装置。